

SADA

SAKAI DESIGN ASSOCIATION

堺デザイン協会

No. 6

昭和62年3月31日



大仙公園の都市緑化センター

SADA新春の卓話と懇親のつどい

新春1月31日、堺市都市局都市開発部副都心開発課課長向井幸一氏をお招きして、卓話と懇親のつどいを堺商工会議所で開催した。2年前に、当時商工農政部明渡理事からお聞きした「堺21世紀の都市づくり」の具体化、「中百舌鳥副都心計画」を向井課長から地図を見ながら詳細なお話を伺い、会員からの活発な質問も続いた。その後、懇親会に移り、賑やかな歓談のうちに楽しい新春の午後を過ぎて午後5時過ぎ散会した。

■「中百舌鳥副都心計画について」 卓話要旨

今春、地下鉄御堂筋線が中百舌鳥まで延長される計画が発表されたが、大阪府の総合基本計画では、中百舌鳥地区は「新都心」として位置づけられており、堺市の総合基本計画では、定住魅力豊かな調和と風格のある都市「堺」の「副都心」として位置づけされている。

堺には本当の「都心」が形成されておらず、商業的には山之口商店街地区と堺東が考えられるが、老舗として続いている山之口の方は、堺駅地区を含め戦後の街の核であったが、現在は堺東地区に移動している。「都心」に対する「副都心」の位置づけは大変むづかしく、東京の新宿のように都心がしっかりしている場合には副都心という性格がはっきりするが、大阪の場合はお互いの距離が近過ぎることもあって、なかなか副都心にはなりにくい所がある。

将来中百舌鳥は堺東と一体的となり、堺の街の核として都市機能を果たす時期が来ると思われるところから、「新都心」と呼んでいる。中百舌鳥周辺を取りまいて交通網の発展をみると、明治31年南海高野鉄道にはじまり、中央環状線が昭和21年に都市決定され、今度地下鉄が地下を走る常盤浜寺線も同時期に決定されていたが、遅々として進まず今日まで来てしまった。また、昭和33年に堺富田林線の拡張も都市決定されていたが、昭和44年泉北高速鉄道の中百舌鳥、光明池間が決定され先に着工された。



向井幸一課長(左端)

さらに、昭和45年には長曾根・中百舌鳥土地地区画整理事業区域として、中央環状線から河内長野線間の119ヘクタールが決定された。地区整備の基本構想から抜粋してみると

- (1)中百舌鳥駅前地区は、将来の新都心イメージを実現させるため大街区構成とし、土地の共同利用・共同開発の可能性を明らかにする必要がある。
- (2)商業・業務施設は、都心機能を構成するため必要であり魅力ある商業地区を形成するために、商業・業務機能の集積を行う。既存の商業施設との競合をさけるため、堺東等を中心とする都心と、副都心との機能の分担、開発の相乗効果を考慮する。
- (3)車庫上空の土地利用として、公共公益施設、新都心としての産業文化情報施設の整備をする。



- (4)良好な住環境をもつ都市型住宅地として整備し、活力ある街の形成を目指す。
- (5)都市計画道路中百舌鳥駅前線については、地区のシンボルロードとして整備し、公園緑地は市民広場として豊かな空間を形成させる。
- (6)駐車場、駐輪場を積極的に整備する。

等々が考えられている。
車庫上空利用には一時、市庁舎の移転が検討されたこともあったが、現在、「南大阪地域地場産業振興センター」が建設中で5月にはオープン予定である。その他野外音楽堂など市民施設も検討中であるが決定までに至っていない。

堺市が政令都市になるには、商業施設も充実させる必要があり、百貨店、量販店を誘致する考えである。さらにこ

の地域のシンボリックな建物として、仮称「堺タワー」的なもの、ホテル等も考慮している。中百舌鳥地区は南海高野線、泉北高速鉄道、地下鉄3鉄道の結節点であり、近くには阪和線もあって、国・公・私鉄の集合地として全国的にも珍しい地域であると思われる。近くには大仙公園、仁徳陵、百舌鳥古墳群と歴史的にも恵まれた条件にあり、中百舌鳥を基点として回遊できる歩く道の整備も大切である。

中百舌鳥と堺東を一体的な街にするため、両地域を結ぶ「楽しみながら歩ける道路」を設け、緑があり、モニュメント、ベンチ等、憩える空間を作り、より良い街造りに励んで行きたい。中百舌鳥地区が大阪の南としてのより良い街となり、都市機能を発揮できることを念じている。

(文責 広報委員 山崎・金子)



「我が国デザイン業の現状」報告

「JID News '86/10・11号」より転載

昭和54年度に始まり、57、60年度と3年毎の「特定サービス業実態調査」が行われてきた。10月6日、60年度の概況が通産省サービス産業統計調査室から発表されたので、以下ご報告します。

この資料は、昭和60年12月1日現在で行いました特定サービス産業実態調査で、皆様から提出していただいたデザイン業調査票の集計結果から、主な項目をとりあげてお知らせするものです。

1. 昭和60年の我が国デザイン業

総売上高	1,105億7,898万円
1事業所当たり売上高	4,538万円
従業者1人当たり売上高	811万円
従業者数	1万3,640人
うちデザイナー又はデザインコンサルタント	9,392人
集計事業所数	2,437

(注1) この調査は、デザイン業務を行い、市(特別区を含む。)の区域に所在する事業所であって、通商産業大臣が指定したものを対象とします。

(注2) また、この調査の調査期間は、昭和59年12月1日から昭和60年11月30日までの1か年ですが、回答が困難な場合には、最寄りの決算日前1か年間の実績を回答してもさしつかえないこととしております。

(注3) この調査で、デザイン業務とは、工業的、商業的製品又はその他の物品、装飾に関し、用途、材質、製法、形状、色彩、模様、配置、照明などについて製造を意図して図上に設計、表現などを行う業務をいいます。

2. グラフィックデザインが大きくウェートを占める

図1は、デザイン業務による年間売上高を業務の種類別に、また、図2及び図3は、従業者を職種分野別に、それぞれみたものですが、いずれからも、ポスター、カタログ、広告などの視覚情報伝達にかかわるグラフィックデザインが大きなウェートを占めていることがわかります。

3. デザイン業の契約先構成

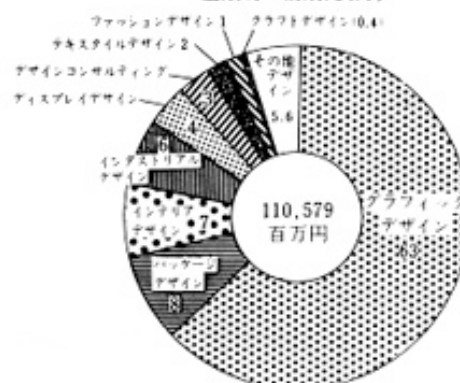
図4及び図5は、デザイン業務の年間売上高の契約先産業別構成をみたものです。

製造業では出版・印刷、輸送機器、食料品などのウェートが大きく、その他卸売業、小売業やサービス業のウェートが大きいことがわかります。

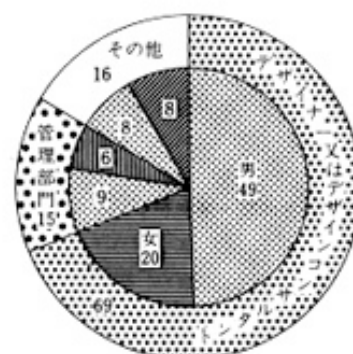
また、図6はデザイン業務の需要先を地域別にみたものです。

大都市圏、とりわけ東京圏に集中していることがわかります。

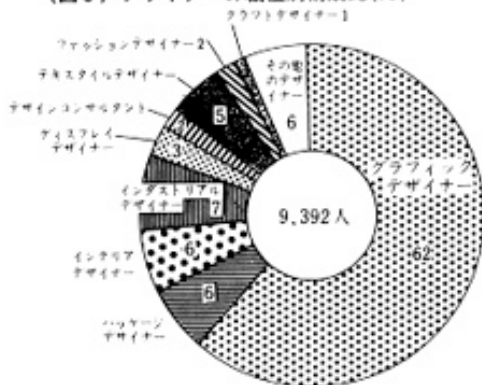
(図1) 年間売上高の業務の種類別の構成比(%)



(図2) 従業者の職種分野別、男女別構成比(%)

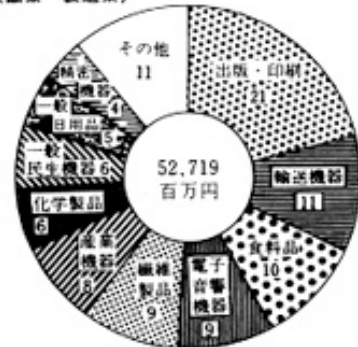


(図3) デザイナーの職種別構成比(%)



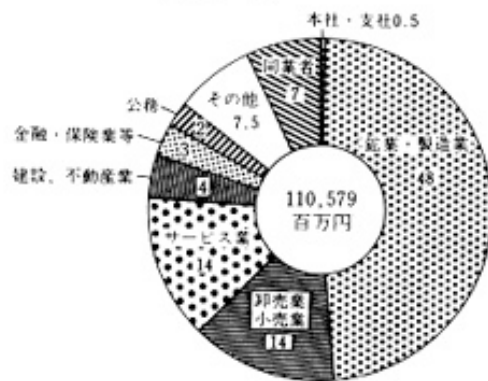
(図5) 年間売上高の契約先産業別構成比(%)

(鉱業・製造業)

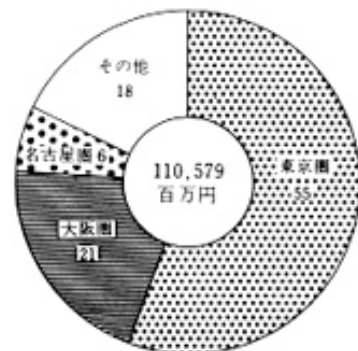


(図4) 年間売上高の契約先産業別構成比(%)

(全産業)



(図6) デザイン業務売上高の契約先地域別構成比(%)



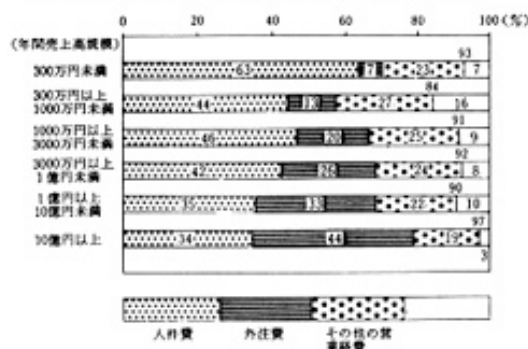
東京圏
(東京、神奈川、千葉、埼玉)
大阪圏 (大阪、京都、兵庫)
名古屋圏 (愛知、三重)

4. 規模により違う経営構造

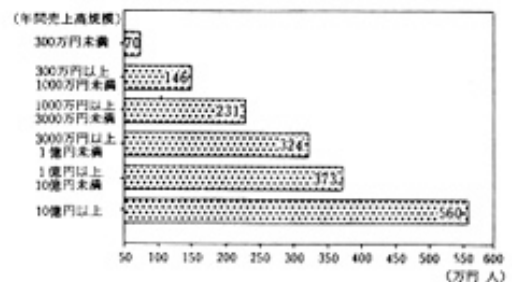
図7と図8は、年間売上高総額に占める年間営業経費の割合と従業員1人当たりの人件費とを、年間売上高の規模ごとにみたものです。

また図9と図10は、事業を行ううえで、当面困っている点及び今後の経営方針をやはり年間売上高の規模ごとにみたものです。

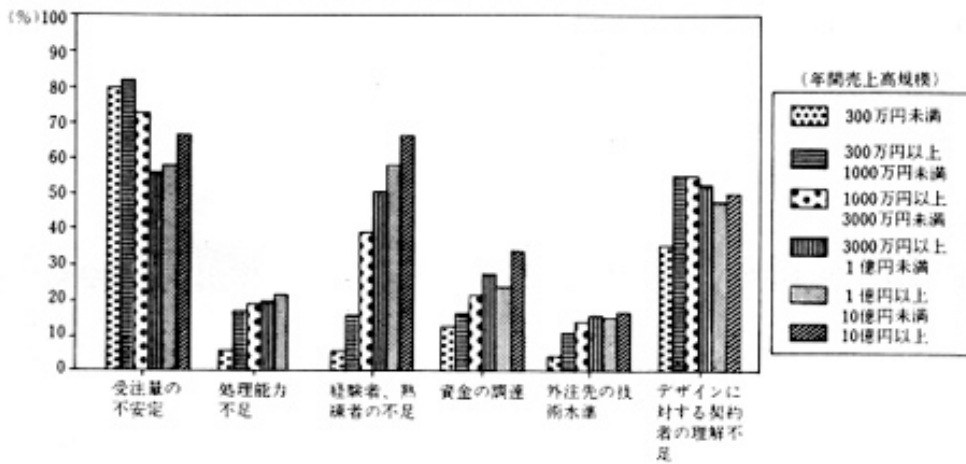
(図7) 年間売上高総額に占める年間営業経費の割合



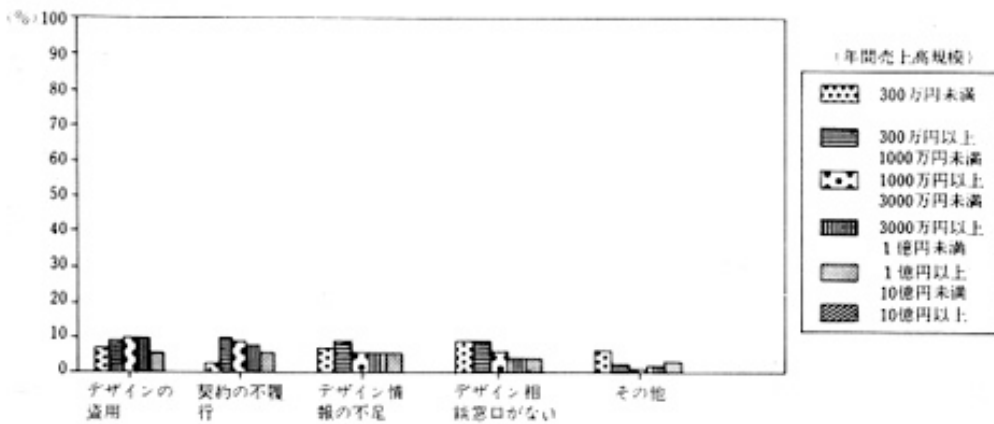
(図8) 従業員1人当たり人件費



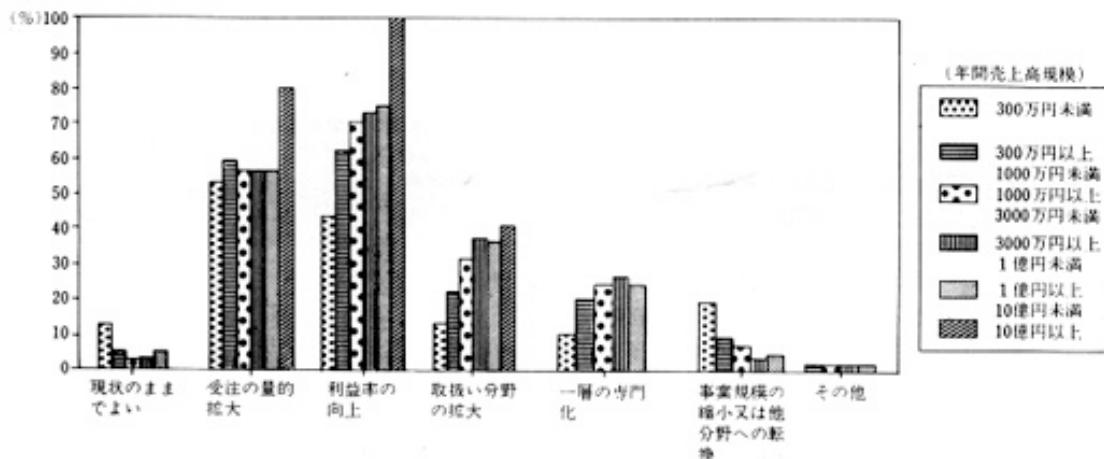
(図9) 年間売上高規模別の当面の問題点(回答比率)



(図9) 年間売上高規模別の当面の問題点



(図10) 年間売上高規模別の今後の経営方針(回答比率)



堺ファッション・グランプリ

第1回堺ファッション・グランプリは、堺まつり前夜祭の去る10月18日に、堺市民会館において華々しく開催され、堺デザイン協会を代表して不肖が審査にあたった。

グランプリの募集作品テーマは「21世紀へのシミュレーションを表現し、感動をもって、自由に今日を演出するウェアの提案を行う」とあり、北海道から広島まで、多数の方々の応募、参加をみた。

審査はファッションショー形式の公開審査とし、感性ゆたかな創造性に富んだ力作ぞろいであったため、FASTEM 21大賞、モデル大賞をはじめ、堺市長賞ほか各賞の決定には長時間を要した次第。

その中で、堺デザイン協会理事長賞を受けられた田中美和さんの作品は、黒を基調にデザインし、素材に天然の皮革と人工のビニールクロスを用いて、冷たさとあたたかさ、シャープなラインと柔らかいドレープの対比の面白さを狙い、しかも都会派的な息吹きを感じさせる工夫をして、当協会理事長賞にふさわしい作品であった。

高度な情報社会の進展に伴って、人々のライフスタイルや消費行動が大きく変化し、ファッションの世界でも、ますます多様化・個性



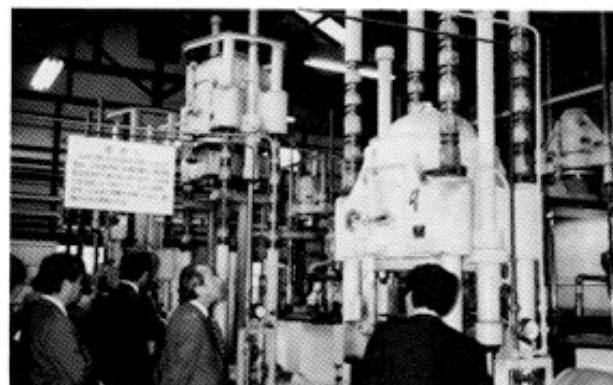
化が進んで、今後、よりよい生活をエンジョイするためにも、参加されたひとりひとりの若人が、堺の誇る文化や風俗を再認識して、さらに地域のファッション界において活躍されるよう期待したい。

(垣村三平)

FASTEM21大賞 (レディス作品) 東野俊子さん、(メンズ作品) 石崎弘美さん

大醬株式会社 見学会

'86年10月17日、秋晴れに恵まれ、爽やかな見学会日和となった。堺市石津北町に位置する大醬株式会社は、高品質醤油を中心とした製品の、製造販売にあたる中堅メーカーである。あられやおかき等の加工食品にも使われ、日本国民1人当たりの年間使用量が10ℓにもなる醤油を、今日は知ろうというのである。代表者であられる河盛泰三氏自らの情熱的な説明に始まり、スライド映写にひき続き、工場見学へ。



蒸煮缶で大豆を蒸し、煎った小麦と種こうじを混ぜ合わせ、むろでこうじを作る。それに塩水を加えタンクで半年間発酵熟成させてもろみを作り、圧搾機にかけてできた生醤油を加熱滅菌し、検査を経て瓶詰となる。この大豆・小麦の蛋白質が、こうじ菌の酵素で分解されてできた各種の天然アミノ酸が互いに働き合い、他の成分と溶け合って醤油独特の「うま味」をかもし出すとのこと。また、120種もの果物と花の香りのエッセンスが含まれていて、食欲をそそる香りとなるそうである。デザインに携わる者として、発想からスケッチ・図面となるまで熟成期間が要ること、完成された形になるまで様々なエッセンスを必要とし、多くのプロセスを経て、作品に独自のうま味が出ることなどデザインとの共通点が多々あるような気がした。醤油のお土産を頂き、日本の味覚と香りをしみじみ確認し工場をあとにした。河盛氏の言われた「醤油はたぐいなき調味である」という一言が深く印象に残った見学会であった。

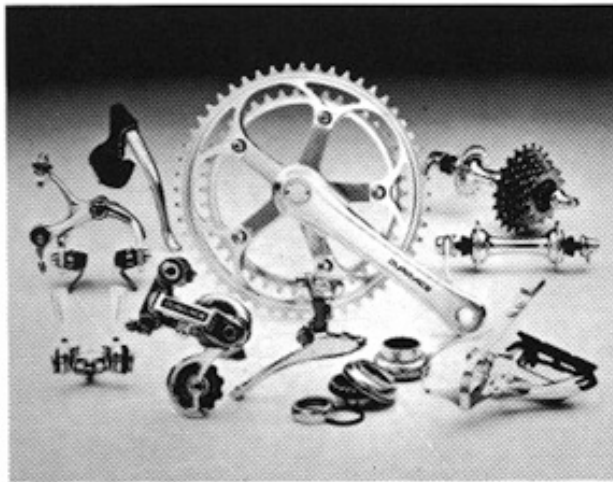
(上野あきら)

 企業が創る

サイクル部品トップメーカー

シマノ工業

シマノは自転車部品と釣具のメーカー。自転車部品は世界一の規模。業界ナンバーワンになった。自転車というのは、ちょっと特殊で、部品メーカー先導型になっている。ファッション業界と同じで、はじめに素材(部品)ありき。



それを仕入れてアパレル(レディメイド)やテラー(オーダーメイド)が存在する、という仕組み。だから世界中の自転車のギアやブレーキや変速機はシマノ製という具合。

日本では買物や通学の自転車が中心だが、欧米では高級サイクリング車やレース車が主体。だから輸出比率も高く、高級部品で市場競争している。それだけに、ホンダやヤマハのオートバイのように、シマノもサイクルレースの世界で、ハード・ソフトの両面活動に大わらわ。

堺に生れた自転車産業が、遠く欧米で、大人気スポーツの「うず」の真只中で、苦闘し、また、親しまれていることも、知っていたらオモシロイ。日本では地味な存在のシマノも世界では、子供でも知っている有名ブランド、というわけである。堺に工場をもちながら、海外市場相手にデザインし、宣伝する企業も、これから、ますます増えるでしょうが。

 ズームアップ

旧堺港の石垣

木下良明

SADA第5号の木下勝義氏のズームアップ(マンホールのフタ)を楽しく読ましてもらい、「アッ」ノやられたなあと感心しました。この人の後に記事を書くのは、大変だろうな、と思っていると、私の所に原稿依頼。こうなったら私も下を向いて歩こうかと……

やって来たのが大浜公園。

旧堺港の燈台の延長線上にあるこの石垣。取りたてて見るべきものではありませんが、先人が築いた努力と知恵を汲み取ることができます。この石垣も現在では無用の代物です。しかし、たまには草生した石垣を見て、過去に思いを馳せるのも悪くはないような気がします。昔この石垣を登ると堺港の賑わいがあったのでしょうか。今この石垣の向う

に高速道路という海原が横たわっています。その海を自動車という魚が泳いでいます。時代の流れは容赦なく押しよせて来ます。やがてはこの高速道路も無用の代物になる時代が訪れるはずですが。その時、この石垣のように形だけでも残れるでしょうか?…… たまには車から降りてみませんか。高速道路からは石垣は見えませんよ。



堺・今・昔

丁字油事情

老 健一

堺が生んだ傑僧、河口慧海のチベット旅行記の一節に、ヒマラヤの骨に徹する寒気の川を渡るときふと思いついたのが、かねて堺の岡村の丁字油をもってきたことで、これを全身に塗って摩擦したら身体が温かになったので、川に飛び込んだ、と記されている。チベットの無人の山野を踏破して大乘仏教の原典を求める旅の中に、丁字油は一再ならず慧海師の危難を救ったことが述べられている。堺の丁字油は、正徳3年（1713年）に丁字油伝授誓書という文書があり、その頃すでに製造されていたことになり、現代当主岡村平兵衛さんは21代目である。徳川時代の武士の魂であ

る刀剣の手入に、丁字油はその防錆効果から欠くことのできない必需品であったので、盛んに出荷されて全国にゆきわたっていたのである。図版はその状態を示すものである。

第二次大戦後は、刀剣の所持は美術品として登録された岡村ものに限られたが、美術館や博物館の刀剣はもとより、金属工芸の作品などの錆止めに抜群の効果があり、高く評価されているが、慧海師の記述にもある人体の保温や薬用、煎じて香気を出させ、防臭・防湿の働きを活用して、例えば冬山登山や梅雨季に室内を爽やかにするなど、現代の暮らしを快適に演出する使い方があるのでないだろうか。



E-スポット

うどんと居酒屋「四国」

金子誠之助

堺市役所の北側、大小路通りを挟んだ所にあり、皆様すでにご承知のはず。昼はうどんを中心にしたメニューで、昼食時は近所のサラリーマンで満員。火を燈す頃になると、居酒屋としてこれまた庶民の親しむ場所になり人気のある処である。肴も安くて旨い。

店内は広くないが4フロアーあり、3・4階はグループにも貸切りが出来るようになっている。内装は和風民芸調で、古材を使い要領良くまとめている。

まだの方は1度出掛けてみませんか!!



「第4回Nashopライティングコンテスト」ダイヤモンド賞を受賞して

吉田博文

過去4回、松下電工㈱主催のNashopライティングコンテストに応募し、3回ナショップ賞でしたが、4回目にしてようやく念願のダイヤモンド賞を受賞することができました。賞の対象となりました東京丸の内にあります日本シイベルヘグナー㈱本社のレセプションショップは、特約店や一般ユーザーに対して高額商品を扱う場としての効果を十分に考慮した上で、全体にエレガントで落ち着いたムードに仕上げられています。時計の持つ優雅さや気品をアピールし、さらにその個性や価値を引き出すブランド別の独立ウィンド、ソフトで上品な空間を演出する間接照明、また商品を一層際立たせるポイント照明やディスプレイを用い、どちらかといえば保守的な業界でもあるので、オーソドックスな店づくり、流行に左右されない生きた店を作ることを常に念頭においての結果だったと思います。この業種における店舗のあり方として、こういったショールーム的雰囲気店舗は、今後、ますます増える傾向にあるのではないのでしょうか。

■審査委員長 清家清氏 評

ショーウィンドとして、オーソドックスな手法がとられ価格の高い商品にふさわしい演出が評価されました。陳列における機能面、商品の presteege を配慮し、熱量を考

えた器具の選定など、商品の価値をいかに演出するかといった、ディスプレイの機能と照明がキチンと組み込まれています。作者の意図する presteege を感じさせる雰囲気づくり、高額な輸入時計のみを扱うショールーム的要素の強いレセプションショップであるだけに、ウィンドとしての役割を果たす高度な演出にすばらしいものがありました。

(ナショップ通信より)

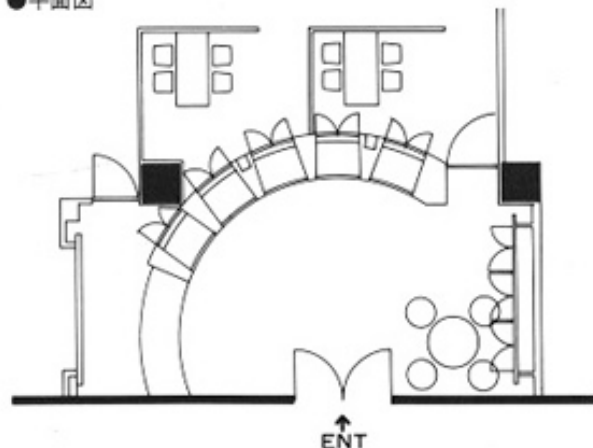
設計 日本シイベルヘグナー㈱宣伝部 吉田博文

施工 ㈱上谷製作所・㈱三菱地所

所在地 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル



●平面図



デジタル随想

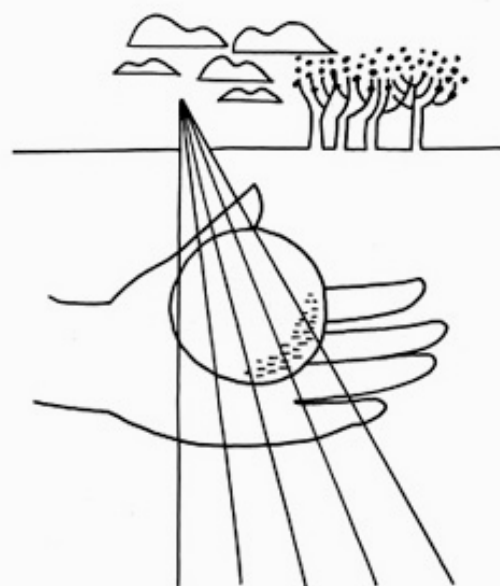
要 信一

歳々年々のお芽出とうと、念々を過ぎし過ぎの今日性です。新人類論も出廻り、西洋哲学・科学と結託しての技術革新です。自負学者はマイクロまたマイクロ、マクロまたマクロと、気づかれもなく挑戦です。平常心の人間さん、一昔前・昨日までの思想もほっぽり出さねばなりません、これに加えて、思惑情報屋さんが拍車を掛けてます。この写し世の現実、ほとんどの多くの人々が、何々症にかかっています。思惑症と言うのが一番多い。この中で、まれに見る、度胸のある人は、あいや・あいや、一期一会の気合じゃ、と、How do you do!! Now How? 卯の年の次ぎは竜年や、How do you Going!!

お話は、アッサリ・サラリとあらためて、では・では、この世や、素朴なる人ばかりに成れば、どうなりますや!!

お芽出たふ!!

一の信



新会員のプロフィール

“SADAに入会して”

崎田公明

このたび川崎理事長のお勧めにより新たに入会させていただきました崎田公明です。私は昭和36年から、大阪は上本町にある現在の跡大阪山田守建築事務所にて建築の設計監理に携わっており、医療や福祉関係を多く手がけております。東京の日本武道館、京都タワー、大阪厚生年金病院もさせていただきました。私が堺市の住人となって今年の一ヶ月でやっと16才3ヶ月になったばかりで、本市について未熟者です。今後とも諸先輩の御指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会員ニュース

●織田義郎さんCIの本を出版

SADA会員織田義郎さんが、最近日刊工業新聞社から『新CI革命・その本質とホンネ』を出版されました。

CIを導入した企業の側からも「CIはしたけれど……」と必ずしも成功例ばかりとはいえない声も囁やかればじめている今日この頃、CIの落とし穴について、著者が実際の仕事で体験した具体例も折りまぜながら、飾らない言葉で語った実のある本の登場は、時宜を得たものといえましょう。

SADA入会について

- SADAの会員は、2月末現在で個人会員47名、賛助会員15社になりました。
- SADAに入会ご希望の方は、事務局またはお知り合いの会員にご相談下さい。

堺の新製品フェア '87

堺の新製品フェア'87(構成=堺市・堺商工会議所・(財)堺市中小企業振興会)は、昨年度に引き続き3月12日から17日まで、泉ヶ丘駅前のパンジョ広場で開催した。

今回は28社、215点の出品があり、概ね過去1年以内に生産された製品、または品質改良された製品を対象に、創作性、機能性、品質・加工性、価格などについて総合審査が行われた。何しろ出品物は自転車、工具、刃物、敷物、食品等々と多種にわたり、審査は予想もしなかった長時間を要し、漸く次の各賞が決った。

●堺市長賞

昭和マツタカ(株)「オカリナ・ケトル」

●堺商工会議所会頭賞

アルス刃物製造(株)「ザクザク24、木工園芸用鋸」

●堺デザイン協会理事長賞

(南)芦刃物製作所「LOGナイフ」

●(財)堺市中小企業振興会理事長賞

(株)釜野製作所「ガス抜きブライヤー」

●優秀製品賞(5)

(株)和泉利器製作所「堺刀司洋鋏」

(株)近正「エア式剪定ハサミ」

秋吉自転車(株)「CL-260自転車」

(株)三宝商会「電気温水循環器」

(株)小林製作所「コバード・キットハウス」

わが堺デザイン協会の理事長賞に選ばれた、芦刃物製作所ナイフについての評定は――。

この種のアウトドア・ナイフは、最近では実用品としてのナイフよりも、むしろ個性的なものを求める傾向にあり、そこにポイントをおいて飾り気のないデザインでまとめている。とくにハンドルには1本の木の枝をそのまま使用し、同じものがない自然の木目にあたたかさが感じられ、仕上げも抜群。また樹脂を圧入させて水分にめっきり強くし、いつまでも愛用したいナイフのひとつといえる。(垣)

春夏の文化・スポーツ催事

■堺市の催事

- 「じばしん」開館式
3月31日 中百舌鳥駅前「じばしん」
- 「じばしん」開館記念イベント ゴールデンウィーク
中百舌鳥駅前「じばしん」イベントホール
- 堺シティ・マラソン 4月29日 大仙公園・仁徳陵
- ホテル親賞会 6月中旬 大仙公園
- 大魚夜市 7月31日 大浜公園

■博物館の展示

- 特別陳列「堺の視覚上人絵伝」 ～4月19日
- 春季特別展「緒」―小袖を彩る― 4月25日～5月24日
- 特別陳列「新収蔵品展」 6月上旬～7月下旬

表紙の写真

大仙公園の南側を走る道路をはきんで、堺市都市緑化センターがある。(〒590 堺市東上之芝町1丁4-3)

昨年4月に完成して1年、人と緑のかかわりあいについて楽しく学べるセンターとして、人気を集めている。温室、庭園見本園、花と水の広場、緑の相談室などの施設が整い、ただ見て歩くだけでなく、緑を愛し育てている人達のための楽しみながら学び、体験する場となっている。

写真は緑化ホール。床に広がる堺市のビッグアップに立って、自分の家など探してみるのも楽しい。相談コーナーでは専門家が親切に指導してくれる。図書コーナー、ビデオコーナーも充実、庭園では木々に立てられた説明板が、それぞれの木についてどう育てたらいいか丁寧に解説している。センター全体に緑の学校といった趣がある。

(広報委員 山崎晶)

会報 SADA 6号
昭和62年3月31日

発行 堺デザイン協会

〒590 堺市北向陽町1-1-7 オカムラデザインプロ内TEL0722-29-5011

編集 堺デザイン協会広報委員会